

変えます！―若者が元気に輝く社会へ

日本共産党

参院東京選挙区の議席回復へ―
吉良よし子の思いと決意

私は、来年7月の参院選に東京選挙区から立候補します。若者が希望を持てる社会、子どもからお年寄りまで明るく生きられる社会をつくりたい、そのために政治を変えていきたいと思い、国政への挑戦を決意しました。

私も「就職氷河期」を体験―

働きたいのに働けない

こんな社会はおかしい！

深刻な若者の就職難。私も数十社受けて内定したのは1社でした。内定が決まらず、精神的に落ち込んで、電話線を抜いて家族との連絡を断つてしまったこともあります。また、面接官に「結婚や出産があるから女性を採るのはリスクだ」と言われ、悔しい思いをしたこともあります。

「池袋派遣村」に参加して―

私は「池袋派遣村」など、街頭での生活相談・労働

相談を行ってきました。はじめに働いてきた人を簡単に切り捨て、生きる希望も失わせる―こんなことは許されません。私は、人間を使い捨てにしない社会をつくるためにがんばります。

くらし・経済を壊す消費税増税反対
政治は若者の声を聞け！

野田政権が進めようとしている消費税増税は、ただでさえ落ち込んでいる景気と日本経済をさらに悪化させます。いま政治がやるべきは、年収20万円以下の非正規、使い捨て雇用を改めることです。私は、だれもが安心して働き、結婚、子育てできる社会に変えるために力を尽くします。



子どもからお年寄りまで
希望を持って生きられる社会を

趣味はコース、ピアノ、観劇、読書など

吉良よし子のあゆみ

自由民権運動発祥の地
土佐・高知で生まれる

1982年、小学校教諭の両親の長女として生まれました。歌やお芝居や本が好きで子どもでやっていた。

98年に入学した高知追手前高校では文芸部と舞踊部を掛け持ち。文芸部では部長を務めました。

早稲田大学に進学

01年には早稲田大学の第二文学部に入學。日本文学を専攻しました。

☆合唱サークルで活動

大学では「早稲田大学合唱団」に入り、積極的に活動。ピアノや指揮者を務めました。

☆日本共産党に入党

大学在学中に入党を決意しました。小さい頃に戦争の絵本を読んだり、母が「その戦争に反対して人たちがいたんだよ」と共産党のことを教えてくれ、共産党には共感を抱いていました。

民間企業に就職

05年に大学を卒業し、企業に就職。仕事では、環境や雇用などに対して企業が果たすべき責任についての研究を行いました。また、地域の平和運動にも積極的に取り組み、06年には原水禁世界大会にも参加しました。

退職し、政治の道に

09年、東京都議会議員選挙（豊島区）に立候補しました。都議選後、田村智子さん（現参議院議員）の秘書を務めるなかで多くの分野の要求を聞いてきました。

◎東日本大震災被災地へ

何度も足を運びました



宮城県石巻市での泥かき作業

来年7月、参院東京選挙区から国政に挑戦します